

地域支え合いセンター



丸森町社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うぐたん

町民グラウンドで熱気球搭乗体験

復興フライト

10月22日（土）

天候 晴れ
風速 0～2 m
高度 約15m

搭乗開始 6時30分
係留終了 9時00分

最年少 1歳
最年長 86歳
搭乗者 201名



▲静かな朝、空気を温めるバーナーの音が響き渡りました。

爽やかな秋の朝、復興に向けて変わりゆく丸森町をいつもとは違う視点から見て、町の美しさを改めて感じていただきたいと、熱気球の搭乗体験を行いました。元々は10月10日開催予定でしたが、天候不良のため22日に延期になったものです。この日は風が穏やかで、雲の隙間から青空がのぞく丸森町の大空に、東北一の大きさを誇る気球が浮かび上がりました。



▲上空からは、人がとても小さく見えました。

一番早い方は朝5時から並んでいたとのこと。その後も次々と町民の方々が来場し、バルーンが膨らみ気球が立ち上がっていく様子を固唾をのんで見守っていました。

生まれ育った町を空から眺めたいと、年配の方が多く参加してくださったのが大変嬉しかったです。ご来場の皆さま、そして運営に協力してくださった町内外の皆さま、本当にありがとうございました！！

黄色いハンカチについて

天候に左右される気球係留。決行のお知らせは「町民グラウンドに、黄色い旗（ハンカチ）を掲げる」方法を取りました。掲げたハンカチは、東日本大震災の甚大な被害から復興の歩みを進めている山元町の「やまもと語りべの会」からお借りしました。ハンカチ一枚一枚に、メッセージや伝えたい思いが書かれていました。

「沢山の思いをのせて、“まち”は必ず復興する」



まなびの森 移動教室通信

移動教室サポーターをご紹介します。

丸森地区移動教室内で月1回開催している「丸森みらい食堂」サポーターの“丸森地区婦人会”の皆さんです。2チームにわかれ、隔月交代で調理を担当して下さっています。料理も片付けもアツという間に完了、チームワーク抜群です。

また、調理室(生活改善実習室)で食事を摂る小学生たちが、苦手なものでも少しずつ食べられるように、励まし、応援し、成長を温かく見守ってくださっています。



神明住宅木造東側入居開始



神明住宅(木造平屋)東側の24戸が完成し、12月から入居開始となります。

10月2日には、入居予定者を対象に、現地見学会および説明会が行われました。関係者の説明を受けながら実際に住む住宅の設備等を確認する皆さんからは、今後の生活を思い描く楽しそうな様子が伺われました。



丸森まちセン de ボッチャ大会

文化の日の11月3日(木)、丸森まちづくりセンターを会場にボッチャ大会が開催されました。神明・神明北住宅入居予定の方を中心に、約40人が14チームに分かれて、熱戦を繰り広げました。みんなで汗を流した後は、婦人会特製のカレーライス等が振舞われ、参加者同士で交流を深めました。最後はビンゴゲームで盛り上がり、「スポーツの秋」と「食欲の秋」の両方を楽しんでいました。



第2号 発行：丸森町 東北まちづくり 神明住宅世話役会 発行日：10月吉日

しんめい便り

神明住宅のこれまでとこれから
9月25日(日)に第2回神明住宅世話役会を開催しました。
今回話し合った内容は、これまで神明住宅でどんな地域活動を行っていたか振り返りました。今後、今までの活動を振り返りながら新しい神明住宅の地域活動を考えていきます。

どんな体制でやってたか
【令和1年以降】委員長1人、副委員長1人、会計1人、衛生班長1人、監事1人
【令和2年以降】委員長2人、副委員長2人、会計2人、衛生班長2人、監事2人
※正副委員長、会計、衛生班長は鳥屋自治会理事兼任

選任方と任期
神明住宅9区・東宮住宅2区の区長から選出
2月の定例会で選出(新・旧区長引継ぎ及び役員改選)
3月の定例会で承認
任期は1年

会費
神明住宅連合会費：1,150円/年
鳥屋自治会費：6,000円/年

地域行事
集会所連合6回程度(2〜3か月/回)
地区内運動会(春・秋)
町民体育祭(春)
新町地区公民館
定例会

イベント
グラウンドゴルフ及び芋煮会
地区運動会
球技大会
お祭り
ラジオ体操

10/2(日) 神明住宅3区・4区の現地見学会と入居説明会
2DKと4DKタイプを見ることが出来ました。住宅のタイプによって少しずつ違うところがありますが、整備されている設備等は同じです。
「綺麗な住宅で嬉しい」といった声が続きました。

新築 自然と100%

お問い合わせ先
丸森町社会福祉協議会 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋55番地1
電話 0224-72-2241 FAX 0224-87-8990

神明住宅・神明北住宅

12月から順次入居が始まる神明住宅や、災害公営住宅である神明北住宅では、入居前からコミュニティ形成が始まっています。9〜10月の各住宅の集まりでは、地域の現状を具体的に把握できるよう、(一社)東北まちづくりから5歳刻み年齢別の人口割合グラフが示されました。また、これまでの地域活動や組織体制を振り返り、これからの自分たちの地域では何が必要なのかを話し合いました。

◀神明住宅世話役会では、話し合いの状況を随時お知らせしています。



第16号 2022年11月15日(奇数月15日)発行

丸森町社会福祉協議会 丸森町社協地域支え合いセンター

宮城県伊具郡丸森町字鳥屋55番地1 電話 (0224)72-2241 FAX (0224)87-8990

